

## 国際教育協力日本フォーラムの背景と目的

質の高い教育の普及は世界共通の重要課題です。日本は、2 国間の協力に加え、ユネスコや GPE 等の国際機関等及び G8 サミットやアフリカ開発会議（TICAD）といったマルチの場を通じて、2015 年までの『万人のための教育 “Education for All”（EFA）』目標達成に向けた取組を推進してきました。2010 年に政府が発表した「日本の教育協力政策 2011-2015」では、国際教育協力は人間の安全保障の実現のための不可欠な分野と位置づけられ、「自助努力支援と持続可能な開発」、「疎外された人々に届く支援」、「文化多様性の尊重と相互理解の増進」が政策の基本理念とされています。

2000 年にセネガルで『ダカール行動枠組み』が設定されて以来、早 15 年が経過します。就学率の向上など一部の E F A 目標は達成されつつあります。しかしながら、いまだ 5780 万人という不就学児童がおり、また、就学しても、教育の質や学習環境が不十分であるなど、課題は山積しています。

2015 年の開催となる JEF12 では、EFA ゴール達成に向けた進捗状況をもとに、残された課題について、途上国の視点、そして市民社会、研究者、ドナーや国際機関の観点から、これまでの取組を踏まえて総括的に討議します。さらに、近年の国際教育協力の特徴を踏まえるとともに、新たな課題も見据えつつ、ポスト 2015 年の国際教育協力に繋がる議論を展開します。

---

国際教育協力日本フォーラム（通称 JEF）は、2004 年 3 月に日本の教育分野の国際貢献の一環として、官学協同で創設された年次国際フォーラムです。その目的は、開発途上国自身による自立的な教育開発及びその自助努力を支援する国際教育協力の在り方について、教育開発に携わる行政官、援助機関関係者、NGO、研究者等が自由かつ率直に意見交換する場を提供することです。また、日本の教育の経験とそれに基づく我が国の国際教育協力について広く世界に発信していくことも目的としています。